



子育て支援施設 & 催しの案内

◆すこやかタイム◆

毎週土曜日に、児童館で子ども向けの「すこやかタイム」という楽しい催しを行っています。事前の申し込みなどは必要ありません。就学前のお子さんは、保護者と一緒にあそびにきてください。※1回目10時30分から、2回目13時30分から

- 2月4日(出) ソーマトロープをつくる
- 2月18日(出) おりがみあそび
- 2月25日(出) おひなさまづくり

◆母子のサロン◆

栄養教室
 2月14日(火) 10時～12時
 ※10時～10時30分 身体測定
 ※10時30分～12時 栄養教室

【講師】

管理栄養士

来館時に、写真のスライドショー観賞や、絵本の読み聞かせ、簡単な手遊びを通して親子で楽しく過ごします。

【日時】

2月28日(火) 10時30分～12時
 ※10時30分～12時 成長の記録

【講師】

児童厚生員

(以下は栄養教室・成長の記録、共通です)

【場所】

多久市児童館

【対象】

就学前の乳幼児とその保護者

【参加料】

無料

▼問い合わせ 多久市児童館 ☎75-6621

子育て支援センター

☎75-5780 (杉の子保育園内)

◆子育てクラブ「わくわくランド」◆

日時 毎週木曜日 (祝日休み) 10時～12時

場所 多久市児童館

◆わくわく広場◆

日時 月～土曜日 (祝日休み) 9時～17時

◆子育て相談(電話相談可)◆

日時 月～土曜日 (祝日休み) 9時～17時

人権教育 No. 238

ともに生きる

「正しく理解し、ともに生きる」

昨年12月に佐賀市で開催された人権社会確立第36回全九州研究会の分科会で、同和問題に対する日向市民(宮崎県)の意識調査の結果が報告されました。

「同和問題の解決のために同和教育の研修が必要と考えますか」という質問に対しては、「自分は差別をしていないから研修の必要はない」と考えている市民が多かった反面、「あなたのお子さんが結婚するとき、相手と同和地区出身者であるかどうかを問題にしますか」という質問に対しては、自分を含め親や親類が反対をした場合は結婚させ

ないとか、わからないといった否定的な回答をした人が半数近くあったということです。

差別はいけないと頭ではわかっているけれども、自分や家族、あるいは身近な存在が同和問題に直面すると、眠っていた差別意識が表面化することを示しています。

同和問題は、同和地区に生まれたというだけで、またはルーツがあるということだけで受ける差別です。

誰にでも幸せに生きる権利があります。同和問題や人権問題について学び、正しく理解し、人権尊重のまちづくりを一緒に推進しましょう。

多久市人権・同和教育推進協議会会長

小宮 泰

市交際費の支出状況

▶平成28年度12月分

支出種別	区分	件数	金額(円)
弔慰	今月分計	1	10,000
	今月累計	34	157,100
見舞い	今月分計	0	0
	今月累計	4	40,000
御祝	今月分計	1	10,000
	今月累計	46	234,600
賛助	今月分計	0	0
	今月累計	2	9,000
激励金	今月分計	0	0
	今月累計	0	0
接遇	今月分計	0	0
	今月累計	15	120,198
会費	今月分計	1	2,000
	今月累計	37	180,440
その他	今月分計	0	0
	今月累計	0	0
合計	今月分計	3	22,000
	今月累計	138	741,338

◎詳細は市のホームページに掲載しています。

■問い合わせ 総務課 秘書係 ☎75-2115

市民文芸

短歌

《表の芽短歌会 互選》

年取りて 蟻や小蟲にいたわりの
 葉子の小屑をあたえ喜ぶ 田淵ミチ子

除夜の鐘 遠くききつつふと思う
 夫と聴くこといつ迄あるや 川浪 信子

曾孫は道辺の草花手折り来て
 瓶に差し込みにこつと笑う 福島那智子

もちの木に 赤い実のつくこの日頃
 鍋物恋しく 家族と囲む 梶原恵美子

舞扇かざし特訓する窓に
 錦に染まるもみじ葉の見ゆ 浦野 嘉恵

俳句

《大石ひろ女 選》

柚子の香を一椀に盛る 薄暮かな 富樫 明美

牡丹鍋 湯気の向かうに 妻の居て 倉成 皓二

隅田川の 屋形船より 冬の月 武富 律子

柚子風呂や 口の運動 あいうえお 中嶋 清子

ぎしぎしと 靴音尖る 寒の月 おおや はな

川柳

《多久市川柳会 互選》

餅太り 言い訳をする 太鼓腹 田中久美子

やかん シュンシュン 会話が弾んでいる 茶の間 田代まつこ

甘い 夢水 かけられる 請求書 大谷 和

シルバースhirt そこは私の 指定席 猪ノ口昭子

筆先に 大きな夢を 乗せて 描き 井上 東子

